

力あわせて新しい政治を

日本共産党北区議員団

2012年 新春



| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| <p>宇都宮章 神谷3-10-8 401 ☎090-4127-7550</p> | <p>本田正則 田端3-4-12 305 ☎090-9240-8066</p> | <p>ながいともこ 浮間3-1-54 302 ☎080-4429-6338</p> | <p>山崎たい子 豊島7-19-10 ☎090-2160-1292</p> | <p>池内さおり 党東京12区青年部長 前都議会議員 そねはじめ 飛鳥山公園・平和の女神像前にて</p> | <p>さがらとしこ 赤羽北3-23-17 ☎3905-0970 (事務所)</p> | <p>やまき直人 滝野川2-34-4 201 ☎3917-9827</p> | <p>八百川孝 東十条5-1-9 101 ☎090-6798-2153</p> | <p>福島宏紀 豊島5-4-1 618 ☎090-1206-6925</p> | <p>のの山けん 岩淵町22-31-401 ☎090-2156-3510</p> |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|

許すな！ 社会保障と税の「一体改悪」

消費税増税

新しい年を迎えました。国民生活をこわす社会保障と税の「一体改悪」を食い止めるために、区民のみならずと力をあわせてがんばります。今年も9人の日本共産党北区議員団をよろしくお願いいたします。

民主党の野田政権が推進する「一体改革」とは、2010年代半ばまでに消費税を10%に引き上げ、年間13・5兆円もの増税を押しつける一方で、年金・医療・介護など社会保障制度をのきなみ改悪するものです（左表参照）。

日本共産党は、①大企業、大資産家への新たな減税を中止し、軍事費、大型開発、原発関連予算、政党助成金など歳出のムダにメスを入れる、②富裕層と大企業に応分の負担を求めよう。

大企業・大資産家へ 応分の負担求めよ

財源は増税でなく、大企業・大資産家への負担を求めよう。北区でも、介護保険料、国保・後期高齢者医療保険料の値上げを許さず、くらしと福祉の施策をさらに充実させるために全力をつくす決意です。

日本共産党

被災地3県で大躍進

11月までにおこなわれた岩手、宮城、福島の県議選で日本共産党はいずれも前進。改選前の6議席から11議席へと躍進しました。福島県では地元紙が「共産党が5議席…議会運営に存在感が増す」と報道。北区議員団も震災ボランティアに訪れた宮城県石巻市では、県政史上初の議席を獲得しました。

政府がねらう社会保障改悪案

年金

- 支給額を3～5年で2.5%削減し、その後、毎年約0.9%削減
- 共済年金の給付を引き下げ、保険料を引き上げ

医療

- 外来受診に100円程度の定額負担を上乗せ
- 70～74歳の窓口負担を1割から2割に倍増

介護

- ヘルパーの買い物、洗たくなどの時間を60分から45分へ短縮
- ケアプラン作成の有料化

生活保護

- 医療費の自己負担導入
- 保護費の引き下げ

保育

- 公的保育を解体し市場・営利化

日本共産党 北区議員団 ニュース

http://kyoukita.jp/ 2012年新春号
発行：日本共産党北区議員団
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
Tel 03-3908-7144 Fax 03-5993-0280

内部被ばく対策の充実、災害に強いまちを

11月24日から12月6日まで開催された北区議会第4回定例会で日本共産党北区議員団は、東日本震災と福島第一原発事故をふまえ、放射線対策、防災対策の充実を求めました。

給食の放射線測定にむけて前進

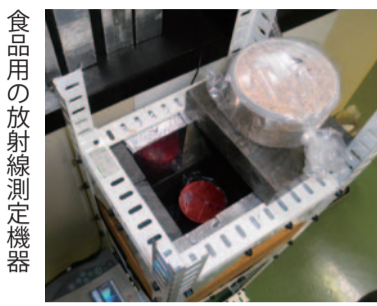
議会には、給食の放射線量測定を求める区民からの陳情が3本提出され、5300筆を超える署名も寄せられました。日本共産党区議団は採択を主張しましたが、継続審査となった一部項目以外は自民、公明、民主、みんなにより不採択に。一方、日本共産党の質疑を通じて区は、都の管轄下にある卸売市場での放射線検査、事業者による牛乳の自主検査結果の公表、国の給食測定機器購入補助事業を活用して各区市町村と連携して放射線検査を実施するよう、特別区学務課長会として東京都に要望したことを明らかにしました。

12月9日に、都は測定器購入補助を国に申請。住民の運動と結び、ようやく給食測定への一歩が開かれました。

耐震改修助成の上限引き上げへ

災害に強いまちづくりでは、ながいともこ議員が住宅リフォーム助成の継続、木造民間住宅耐震改修助成の拡充を要求。区は中期計画案で、耐震助成上限の引き上げ（50→100万円）を打ち出しました。

さらに、防災無線を点検し全地域に聞こえるよう対策を講じることや、防災ラジオの全戸普及をおこなうよう求めました。



食品用の放射線測定機器



花川区長に申し入れる日本共産党北区議員団 = 11月21日、北区役所

北区へ 2012年度 予算要望書を提出

日本共産党北区議員団は11月21日、北区に「2012年度予算編成に関する要望書」を提出し、実現を求めました。5つの柱412項目

の要望に、花川区長は「いずれも区民のみなさま方から寄せられた切実な声とうけとめ、予算編成において十分検討したい」と答えました。

自民・公明 みんなが「オリンピック東京招致」決議を強行

積立金は震災復興にあてるべき

—八百川孝区議が最終本会議で反対討論—

12月6日の最終本会議、自民・公明・みんなが提出したオリンピック東京招致決議に、日本共産党の八百川孝区議が反対討論。「前回の招致は200億円のムダ使い。積み残した4000億円は、震災復興や原発対策にあてるべき。石原知事の真のねらいは、招致にかこつけて外環道建設などの大型開発に都民の税金を使い込むことだ。都民の8割は招致運動に反対」と訴えました。



最終本会議で反対討論をおこなう八百川孝区議 = 12月6日、本会議場

原発ゼロへ



いわき市出身の講談師 神田香織さんが講演

超党派で「原発をなくそう」と話し合いを続けてきた北区脱原発をめざす交流会は12月4日、赤羽北区民センターで「脱原発をめざす講演会 in 北区」を開催。立体講談「はだしのゲン」を演じ続けている女流講談師の神田香織さんが「いま、ふるさと福島は」の演題で講演をおこないました。

隠された内部被ばくの危険



11月23日、日本共産党北区議員団は赤羽会館で、講演会「隠された内部被ばくの危険」を開きました。会場いっぱいにつめかけた180人の参加者が、熱心に矢ヶ崎克馬琉球大名教授の講演に耳を傾けました。

超高層計画は見直し 十条にふさわしい再開発を

十条駅前に地上37階146階の超高層ビルを建てようという西口再開発計画概要が示されています。再開発準備組合は、都市計画決定をめざして近隣説明会を実施。その結果を議会に報告しました。日本共産党は「超高層計画は見直し、十条の町にふさわしい再開発にすべき」と主張しました。



※地域開発特別委の資料より

イメージ図